

<p>大和高田市</p> <p>米田 忠則 よくだ たのり</p> <p>●経済労働委員会 ●観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会</p>	<p>生駒市</p> <p>粒谷 友示 つぶたにともし</p> <p>●厚生委員会 ●少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会</p>	<p>宇陀市・宇陀郡</p> <p>田中 惟允 たなか たかひ</p> <p>●建設委員会 ●南部・東部地域振興対策特別委員会</p>	<p>奈良市・山辺郡</p> <p>荻田 義雄 おぎた よしお</p> <p>●総務警察委員会 ●総合防災対策特別委員会</p>	<p>天理市</p> <p>岩田 国夫 いわた くにお</p> <p>●建設委員会</p>	<p>大和郡山市</p> <p>中野 雅史 なかの まさし</p> <p>●経済労働委員会 ●観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会</p>	<p>橿原市・高市郡</p> <p>山本 進章 やまもと のぶあき</p> <p>●文教くらし委員会 ●総合防災対策特別委員会 ●議会運営委員会</p>
<p>磯城郡</p> <p>井岡 正徳 いおか まさのり</p> <p>●厚生委員会 ●少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会</p>	<p>北河内郡</p> <p>乾 浩之 いづみ ひろゆき</p> <p>●建設委員会 ●観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会</p>	<p>県政への ご意見・ご相談は 各地域所属議員に お問い合わせください</p>  <p>我々22人は知事に迎えることなく、 是々非々の姿勢で対峙できる会派 として、奈良県政の発展に向けて 県民目線で、より良い政策を 提案してまいります。</p>		<p>葛城市</p> <p>西川 均 にしかわ ひとし</p> <p>●総務警察委員会 ●観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会</p>	<p>奈良市・山辺郡</p> <p>池田 慎久 いけだ のりひさ</p> <p>●経済労働委員会 ●少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会</p>	
<p>天理市</p> <p>川口 延良 かわぐち のぶよし</p> <p>●厚生委員会 ●少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会</p>	<p>吉野郡</p> <p>浦西 敦史 うらにし あつし</p> <p>●厚生委員会 ●南部・東部地域振興対策特別委員会 ●議会運営委員会</p>	<p>生駒郡</p> <p>小村 尚己 こむら なおき</p> <p>●経済労働委員会 ●総合防災対策特別委員会</p>	<p>奈良市・山辺郡</p> <p>疋田 進一 ひきた しんいち</p> <p>●文教くらし委員会 ●少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会 ●議会運営委員会</p>			
<p>北葛城郡</p> <p>若林 かずみ わかばし かずみ</p> <p>●文教くらし委員会 ●総合防災対策特別委員会</p>	<p>奈良市・山辺郡</p> <p>伊藤 将也 いとう まさや</p> <p>●経済労働委員会 ●南部・東部地域振興対策特別委員会</p>	<p>桜井市</p> <p>金山 成樹 かなやま しげき</p> <p>●総務警察委員会 ●総合防災対策特別委員会 ●議会運営委員会</p>	<p>香芝市</p> <p>芦高 清友 あしたか きよとも</p> <p>●建設委員会 ●少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会</p>	<p>五條市</p> <p>斎藤 有紀 さいとう ゆき</p> <p>●建設委員会 ●総合防災対策特別委員会 ●議会運営委員会</p>	<p>御所市</p> <p>川口 信 かわぐち しん</p> <p>●建設委員会 ●南部・東部地域振興対策特別委員会</p>	<p>奈良市・山辺郡</p> <p>永田 恒 ながた ちか</p> <p>●総務警察委員会 ●観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会</p>

令和6年度予算の修正案を提案し、可決！

令和6年度予算において、自由民主党・無所属の会は2月定例会開会前から「より県民のための予算になるか」を議論してきました。各委員会での議論も踏まえて論点を絞って修正案をとりまとめて2月定例会の最終日に修正の予算案を提出した結果、自由民主党・無所属の会や公明党などの賛成多数で修正案は可決、成立しました。防災やアリーナなど、県政の諸課題について、ゼロベースで理事者とこれからも議論をし、より良い政策へと繋げてまいります。自由民主党・無所属の会は「防災」と「アリーナ」の2つにチームを分け、先進地域の調査や専門家の意見の聞き取りなどを通じて、奈良県の直面する課題への理解を深め、より良い提案を積極的に行っていきます。



本会議で修正予算が可決

● 3/12～19 予算審査特別委員会

3月12日～19日に行われた予算審査特別委員会では、様々な議論が交わされました。知事も参加した19日の総括質疑では、10時間を超える大激論となりました。令和6年度一般会計当初予算案は自由民主党・無所属の会と公明党が反対し、委員会の意見として「否決」となりました。



予算審査特別委員会の様子
出典：奈良県議会公式ホームページ内議会議中継

● 「再議」で2条例改正案が否決

自由民主党・無所属の会が提案した「県太陽光発電施設の設置及び維持管理に関する条例」「県行政に関する基本的な計画等を議会に議決すべき事件として定める条例」の2つの改正案はいずれも賛成多数で可決しましたが、知事から再議に付され、賛成28・反対15で再議の可決に必要な2/3に届かず否決されました。一方、総務警察委員会で可決した五條市長と地元住民から提出された「大規模広域防災拠点等の整備に関する請願書」2件は採択されました。

「再議」とは？ 知事が議会の議決に対して異議があるとき、理由を示して議会に審議のやり直しを求めること。再議に付された議決は過半数ではなく、議長も含む出席議員の3分の2以上が賛成した場合に可決。奈良県での再議は戦後初。

県民の命と財産を守るために ～防災の議論は終わっていない～

県民の生命と財産を守り抜くことは私たちの責任です。2月県議会では、子や孫の世代にわたる将来の県民のことも見据えて知事らと議論を行ってきました。知事は、ことし1月に県立橿原公苑を“中核拠点”として県の防災のあり方を組み立てていくことを表明しました。しかし、この“中核拠点”は、南海トラフの巨大地震の発生時に全国の応援部隊等を受け入れるために必要な面積の半分程度しかないほか、液状化リスクが指摘されています。航空搬送の拠点として位置付けられる陸上競技場では航空法上の課題もあり、ヘリコプターの十分な運用が可能か事前の検討もなされていませんでした。

防災の“中核拠点”の整備は、十分な面積や機能を持たせることができ、かつ予定地として考えられてきた五條市の県有地も含めて検討されるべきです。しかし、県はすでにこの県有地で広大なメガソーラー計画を発表しています。防災体制を万全なものとする~~ことを第一に取り組むべきであり~~、“メガソーラーありき”ではいけません。私たちは県民の生命と財産を守るべく、これからも県議会で議論していきます。

県防災担当課の提案内容 (令和5年12月5日まで)	知事の政策決定内容 (令和5年12月上旬)
五條市の県有地に全国の応援部隊を受け入れるのに必須となる12haの“中核拠点”を整備	県立橿原公苑を“中核的広域防災拠点”として整備 五條市の県有地に約1haのヘリポートや 約25ha の“メガソーラー”を整備
政策決定の問題点 (県立橿原公苑の課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1 面積が小さく応援部隊が滞在できない 2 液状化の危険 3 法律的に大型ヘリコプターが使用できるか検討できてない

構想なきアリーナ予算を修正！

2031年に国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が奈良県で開催される予定です。その中の重要な施設の1つがアリーナです。そこで、県に対しスポーツ関係者の皆様とともに、アリーナ設置に向けての要望や意見を伝えた結果、県は橿原公苑でのアリーナ設置を発表しました。アリーナ設置にあたっては、その主要要素である「収容人数・面積・機能」の3つをまず決める必要があります。他県の2例(写真①②)では、いずれも、スポーツ・音楽等の利用想定があり、必要な収容人数・面積・機能を決めています。収益性がありプラスを生み出すアリーナを作ることが重要です。ところが、2月議会の知事答弁では、「基本構想(アリーナ建設の骨格、方針)」さえ定まっていない状況にもかかわらず、令和6年度予算案で提案されていたのは、アリーナ設計手前まで自由に進めることができる包括的な予算でした。そこで、**まず基本構想を早急に策定する修正予算案を提出し、賛成多数で議決しました。** 今後は、奈良県に必要なアリーナ構想について、県の調査を注視し、提案を続けてまいります。



▲写真① 佐賀県のアリーナ(8400人収容)
2年先まで予約が埋まり収益性が高い大規模施設



▲写真② 群馬県太田市のアリーナ(5000人収容)
プロスポーツ等の利用はできるがコンサート機能は乏しいコンパクト型施設